

つかさ会 会報

Vol. 59
2011. 3 月発行
つかさ会事務局

つかさ会会員の皆様、こんにちは。

つかさ会は会員数 500 名を数える大所帯です。これには訳がありまして、事務局は大学病院にあるのですが、会員は岐阜県下のいろいろな医療機関を受診されている方や、医療スタッフのかたも入会されているからです。

来年度のつかさ会総会は、5月8日か15日の日曜日を検討しています。大所帯なのですが、会の主旨が糖尿病療養に関する向上と交流なので、総会と言っても堅苦しい会議ではありません。主に患者さん方が主体の会となります。また、何らかの糖尿病療養に役立つ講演なども行いますので、御都合をつけていただくと幸いです。

また、つかさ会になんらかの提案をして頂ける方がいらっしゃいましたら、総会までに事務局まで連絡をください。スタッフと役員一同で寄せられた御意見を検討して総会に出したいと思えます。

どうぞ宜しくお願いします。



今月号の『さかえ』では、“血糖自己測定の人になろう (P18)”は如何でしょうか。つかさ会の会員のなかでも自分で血糖値を測られている方もいらっしゃると思います。インスリンなどの自己注射をされている方は保険適応ですし、されていない方も自分で購入されている方もいらっしゃいます。ドラッグユタカとかの薬局で普通に購入できますよ。昔は痛かったものですが、最近のはだいぶ簡単で痛みも少なくなりました。“達人”とまではいなくても、自分で興味を持って測ってみるもの良いかもしれません。

“読者のひろば(P53)”では、インスリンを打つ場所…確かにそうですね。病院内のトイレも置く場所がないところも多いと思います。岐阜大学病院もそうですし…。とある東京の糖尿病センターの外来では、トイレ内にインスリンの針などの回収ボックスがありました。どこの病院でもすぐに改善とはいかないと思いますが、友の会として意見をまとめると改善の要望が出せるかもしれません(無理かもしれませんが…)。ご意見お待ちしております。

『さかえ』は新しい情報を得るだけでなく、“患者さんとドクターのすてきな!?私生活”“おかげさまで”“読者のひろば”などで体験談を通じて生の声が聞けるという要素が大きいと思います。来年度も是非とも継続してくださいね。